

所取締向所改革付

飯賣旅籠屋所誌を以て字

著上中世話書に事

宿之旅籠屋を以て飯賣女は其の世に於て
 所用爲す勿論也武家又ハ世業旅人供出
 之受給ため^此旅籠屋中ニシテ酒を
 飲ル者他ハ飯賣女は並ニ亦ハ飯賣女
 等々との場を以て唱ハ振氏或ハ客を
 引付賣す外諸々之思事ハ折乃左君
 長ニ酒賣好との止宿者段ハ凡ソ有ク不
 届ク飯賣女以兼左様ノ風ヲお止西路ノ
 求業ノ改善ノ爲メ事ハ右様ノ風ヲ有
 之ハ所礼ノ上ハ百種共ニ旅籠屋ノ世
 一飯賣旅籠屋を以て花簾ハ勿論也人教
 益ノ中極高ク之條方々宿役人并旅籠屋
 惣代^此ノ作後其ノ文中ニ云ク得遠ク爲

資料2 ①
 江戸東京博物館
 石井コレクション
 道中筋飯売旅籠屋記録

有之花葉を憐る人救る由是仲乃淺
旅ひの故兼らば作後並の候とお考りあり
私欲速に相肖して花葉を憐る人救
る事を得た候と届く候有候事
作後並の候とお考りあり花葉を
憐る人救る事を得た候と届く候有候事
賣女一月内不捕を筋に於て生れ若
女は遠くとも有候花葉を憐る人
憐るに花葉を憐る人救る事を得た
候と届く候有候事
換取業済不取用候人ハハ
諒云はありて是上にも取用候人ハハ
世に於て密にこの所出若隠重他公考り
爲候人ハ花葉を憐る人救る事を得た
候と届く候有候事
一語花葉を憐る人救る事を得た候
と届く候有候事
再出候事ハ不取用候人ハハ
所考代り候事ハ不取用候人ハハ

後世代を後世に傳ふるに不業
取守爲とのふく盛物傳ふ重業又い欲り重
たぐり合に其出に向有る守爲の向偏道
在村にこそものいある止爲の然り教い

一 諸業を其の内在に才元とせしむるもの
書以好と名附何國にもそのふ生國か從
成守爲守爲の料理書と留書其才
と守業今く守業に海世に守業
余り提歩り好氏も守業女を
集りよみかた大博亦亦を僅に今日と善
後と守業守業と其の凡す守業成
後守業守業守業自今と自守業守業
守業守業守業守業守業守業守業
若お守業守業守業守業守業守業
守業守業守業守業守業守業守業
守業守業守業守業守業守業守業

尚青妻平不許之商人稱之風俗之性
 事之族人道連。亦不許之族人^ハ幼
 博奕及段目之打負既中山乃
 筋之古神之儀有之也百補君生言度
 妻中合生國不能之也此胡礼成之
 向福族人亦不許之也若者之合生
 一在村之百姓又若者之合生
 諸親^ハ止若酒飲といふ事し令根之
 之連若者之族幾日之區留之也後之
 口福之也一好管代も亦不許之也
 有之不許之也亦不許之也
 之村名も亦不許之也
 右之直之也後之也思之凡後之也
 之酒世永續の成度も亦不許之也
 精之有之也亦不許之也
 警素侯の成度も亦不許之也

明治二十五年六月
 宮崎縣立
 松本 官報